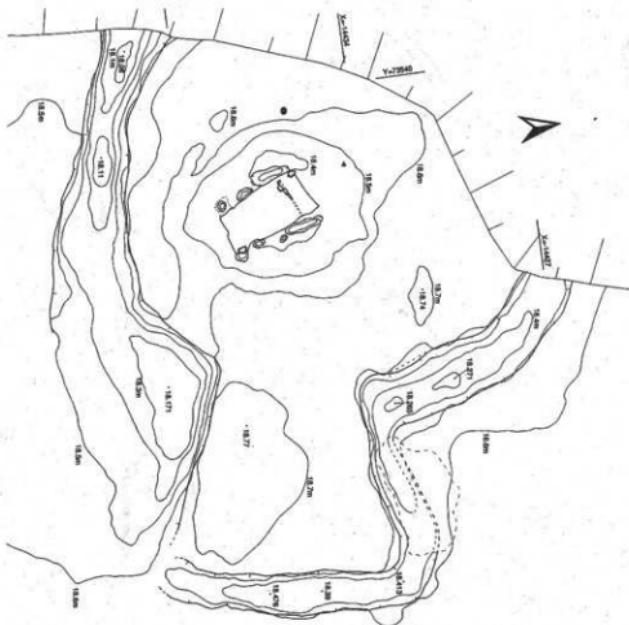


雲仙市文化財調査報告書(概報) 第1集

りゅう おう くら ち がわ
龍 王 遺 跡(倉地川古墳)

—国見中部地区県営圃場整備に伴う発掘調査概報—



2006

長崎県雲仙市教育委員会

雲仙市文化財調査報告書(概報) 第1集

りゅう おう くら ち がわ 龍 王 遺 跡(倉地川古墳)

—国見中部地区県営圃場整備に伴う発掘調査概報—



遺跡上空より有明海を望む

2006

長崎県雲仙市教育委員会



龍王遺跡倉地川地区上空より雲仙普賢岳を望む（2004年10月）



前方後円墳上空写真（龍王遺跡倉地川地区）



横穴式石室検出状況（写真右は東、上は開口部側）



周辺での土器の集中（後円部南側）



方形周溝墓検出状況（龍王遺跡倉地川地区）



方形周郭施設の土器検出状況・断面・上空写真

発行にあたって

このたび平成16年度に実施しました雲仙市国見中部地区圃場整備事業に伴う龍王遺跡の緊急発掘調査の報告書（概報）を発刊することになりました。

龍王遺跡は雲仙市の北部に位置し、東側には土黒川、西側には倉地川が流れるなだらかな扇状地の水田地帯に所在します。古代条里制の痕跡が残る田園風景の中に遺跡が広がっており、当地より南側を望めば雲仙普賢岳がそびえ、頂上付近には平成新山と名付けられた溶岩ドームが噴火の生々しさを今に伝えています。また、北側に目を移せば、眼下には有明海が広がり、佐賀県・福岡県・熊本県までも一望することができます。

龍王遺跡からは、旧石器時代から中世までの幅広い時代の遺物・遺構が数多く発見されております。今回報告いたしますのは、調査において新規に発見された前方後円墳であります。当初遺跡内には古墳の所在はまったく想定しておりませんでした。龍王遺跡はその大部分が水田として利用されており、古墳と思しき痕跡はほとんどありません。発見された古墳は水田地帯の中に浮島のように残された「畠地」にありました。詳しく調べてみると、「その畠からは開墾時に巨大な岩が出て、庭石に運んでいった。」とのことでありました。おそらく調査では検出されなかった「石室」の一部であります。墳丘や石室はすでに消滅してしまっておりましたが、石室の床面、古墳周りの溝などははっきりと確認でき、空中写真などからもはっきりと鍵穴状の「前方後円墳」であると確認できます。石室内部からは鉄製品や勾玉などの副葬品が、古墳の周囲からは大量の須恵器が、また、少量ですが人骨も発見されています。発見された須恵器から古墳の年代を推測すると、島原半島では「最後に造られた前方後円墳」と考えられ、古墳時代の島原半島の歴史解明に大きな進展をもたらすものです。

「雲仙市」は平成17年1月11日、島原半島の北西部7町（国見町・瑞穂町・吾妻町・愛野町・千々石町・小浜町・南串山町）による合併で誕生しました。雲仙岳を主峰とする山々と緑豊かな農業地帯、また、豊饒の海である有明海・橘湾とともに新たな歴史を築いていきます。今報告が雲仙市として最初のものであり、旧町時代と同じくこれまでどおり祖先の貴重な文化遺産を保護し、これを後世に伝えることは、私たちに課せられた重要な責務であります。合併により大きく拡大した雲仙市のなかで、各地域の歴史の重要性・必要性はますます高まるものと考えられます。今後も貴重な文化財を保護し、地域の発展に寄与するべく事業に取り組んでいきたいと考えております。

最後になりましたが、今回の調査に当たり、地権者の皆様、工事関係者の皆様、大学・博物館関係の諸先生方ならびに長崎県学芸文化課のご指導に衷心より感謝申し上げ発刊のことばといたします。

平成18年3月31日

長崎県雲仙市教育委員会
教育長 鈴山勝利

例　　言

1. 本報告は2004年（平成16年度）に実施した国見中部地区県営圃場整備事業に伴う長崎県南高来郡国見町（現長崎県雲仙市国見町）に所在する龍王遺跡の緊急発掘調査の報告（概報）である。
2. 調査は国見町教育委員会（現雲仙市教育委員会）が担当した。
調査は2004年3月～4月に範囲確認調査を実施し、その結果をもとに下記の期間で発掘調査を実施した。
2004年8月4日～2005年3月21日（平成16年度） 1区～31区
2004年8月30日～2004年10月31日（平成16年度） 倉地川地区
3. 調査当時の体制は次のとおりである。

調査主体	国見町教育委員会	教　育　長	原　宮之
	同	教　育　次　長	吉田　正昭
	同	教育社会係長	柴崎　孝光
調査担当	同	社会教育係	辻田　直人
	同	文化財調査員	竹中　哲朗
4. 現地での遺構・遺物の実測は東文子・林繁美・寺中典子・深水聰子・福田次郎・竹田将人・竹中・辻田が行い、遺物の復元、実測、製図は竹中・織田健吾・早稲田一美・柳原亜矢子が行った。写真は現地写真は竹中・辻田が行い、遺物写真は竹中・織田が行った。
5. 遺構実測の一部は株埋蔵文化財サポートシステムに委託した。
6. 空中撮影業務は㈱九州文化財研究所に委託した。
7. 本遺跡の遺物及び写真・図面等は雲仙市国見神代小路歴史文化公園歴史民俗資料館で保管している。
8. 本書で用いた方位はすべて真北であり、国土座標は世界測地系による。
9. 現地調査および本書の発刊にあたって多くの方々からご助言ご協力いただき、記して謝意を表します。
小田富士雄（福岡大学）・宮崎貴夫・川道寛・古門雅高・本田秀樹・榎木亜貴子（長崎県学芸文化課）、渡邊康行（埋蔵文化財サポートシステム）、荒木伸也（長崎県南島原市教育委員会）、宇土靖之（長崎県島原市教育委員会）、長崎県島原振興局、長崎県教育委員会、国見町郷土史研究会、織田建設（順不同）
10. 本書の執筆は竹中哲朗・織田健吾が分担し、各章及び各節文末に執筆者を記した。
11. 本書の編集は竹中による。

目 次

巻頭図版

目次

本文

図版

第1章 龍王遺跡周辺の地理的・歴史的環境	1 p
第1節 龍王遺跡の地理的環境 (織田) 第2節 龍王遺跡周辺の歴史的環境 (織田)	
第2章 調査にいたる経緯	5 p
第1節 前方後円墳発見の経緯 (竹中) 第2節 記者発表・現地説明会 (竹中)	
第3章 調査の概要	7 p
第1節 試掘調査の成果 (竹中) 第2節 表面採集資料の紹介 (織田)	
第3節 検出された遺構の概略 (竹中)	
第4章 方形周溝墓と前方後円墳	15 p
第1節 調査区の設定と目的 (竹中) 第2節 方形周溝墓 (竹中)	
第3節 前方後円墳 (竹中・織田)	
第5章 土坑・掘立柱建物	52 p
第1節 土坑墓と集石遺構 (竹中) 第2節 掘立柱建物 (竹中)	
第6章 考 察	57 p
第1節 倉地川古墳の概要 (竹中)	
第2節 雲仙市国見町内出土同心円文當て具痕 (竹中)	
第3節 龍王遺跡31区住居跡出土土師器の紹介 (竹中)	
第4節 龍王遺跡発見の古墳時代前期豪族居館 (竹中)	
第5節 龍王遺跡22区住居跡出土土師器の紹介 (竹中)	

挿 図 目 次

第1図 遺跡位置図(1/10,000)	
第2図 龍王遺跡周辺遺跡図(1/2,000)	3
第3図 調査区配置図(1/2,000)	4
第4図 龍王遺跡全体図(1/4,000)	7
第5図 真正寺条里跡第143号試掘坑 出土土器(1/1)	8
第6図 第101号試掘坑出土土器(1/3).....	8
第7図 表面採集資料①(1/3)	8
第8図 表面採集資料②(1/3)	9
第9図 表面採集資料③(1/3)	10
第10図 表面採集資料④(1/3)	11
第11図 表面採集資料⑤(1/3)	12
第12図 倉地川地区検出遺構平面図(1/200)	14
第13図 方形周溝墓の調査区(1/200)	15
第14図 前方後円墳の調査区(1/200)	15
第15図 方形周溝墓実測図(1/80・1/40)	16
第16図 方形周溝墓出土土器(1/3)	18
第17図 倉地川古墳測量図(1/100)	21~22
第18図 墓葬施設平面図(1/30)	23
第19図 石室石障軸用凹石(1/4)	23
第20図 副葬品(装身具類2/3)	24
第21図 副葬品(鉄製品1/2)	24
第22図 南側くびれ部検出状況(1/50)	25~26
第23図 南側くびれ部出土土器接合関係、 土師器(1/50)	27~28
第24図 南側くびれ部出土土器接合関係、 須恵器(1/50)	29~30
第25図 南側くびれ部出土土器接合関係、 須恵器甕(1/50)	31~32
第26図 北側くびれ部検出状況(1/50)	33
第27図 周隣セクション図・土器片分布図 (1/30)	35
第28図 前方後円墳出土土器(坏・皿・1/3)	36
第29図 前方後円墳出土土器(高坏・壺・1/3)	37
第30図 前方後円墳出土須恵器(坏・1/3)	40
第31図 前方後円墳出土須恵器(高坏・1/3)	40
第32図 前方後円墳出土須恵器(甕・1/3)	42
第33図 前方後円墳出土須恵器(提瓶・壺・1/3)	42
第34図 前方後円墳出土須恵器 (小壺・平瓶・1/3)	43
第35図 前方後円墳出土須恵器(甕①・1/3)	44
第36図 前方後円墳出土須恵器(甕②・1/4)	45
第37図 前方後円墳出土須恵器(甕④・1/3)	46
第38図 前方後円墳出土須恵器(甕③・1/4)	47~48
第39図 前方後円墳出土須恵器(甕⑤・1/3)	49
第40図 前方後円墳出土須恵器(甕⑥・1/3)	50
第41図 前方後円墳出土須恵器(甕⑦・1/3)	50
第42図 前方後円墳出土須恵器(甕⑧・1/3)	51
第43図 倉地川地区土坑墓出土土器(1/3)	52
第44図 倉地川地区土坑墓 SK01(1/20)	52
第45図 倉地川地区集石遺構 SK02平面・ セクション図(1/20)	53
第46図 倉地川地区 SB01平面・ エレベーション図(1/50)	54
第47図 倉地川地区 SB01柱 E4 出出土器(1/3)	54
第48図 倉地川地区 SB02平面・ エレベーション図(1/50)	55
第49図 倉地川地区 SB03平面・ エレベーション図(1/50)	56
第50図 倉地川地区 SB03柱 N 出出土器(1/3)	56
第51図 墓葬施設(玄室)規模	57
第52図 国見町内出土同心円文當て具痕 (石原・矢房遺跡1/1)	58
第53図 国見町内出土同心円文當て具痕 (十園遺跡1/1)	59

第54図 国見町内出土同心円文当て具痕 (倉地川地区①1/1)	60
第55図 国見町内出土同心円文当て具痕 (倉地川地区②1/1)	61
第56図 31区 SB01出土土師器(1/3)	62
第57図 龍王遺跡発見の囲郭施設と関連する建 物群(1/400)	64
第58図 囲郭施設内部 SB 4 出土土師器(1/3)	65
第59図 龍王遺跡22区 SB 5 住居跡出土土器 (1/3)	67

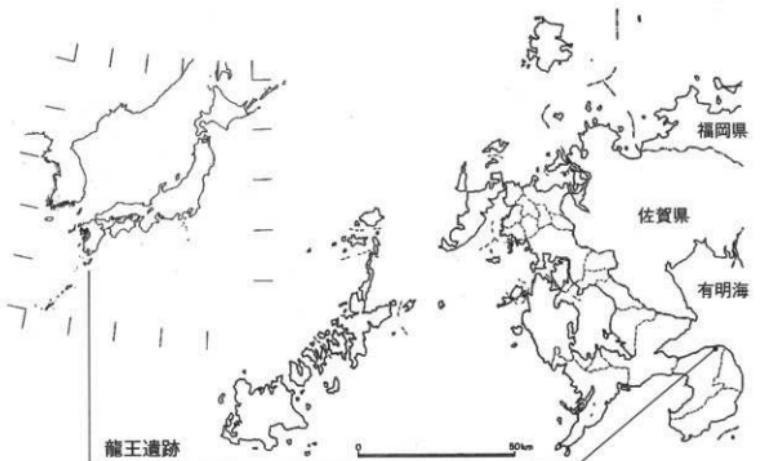
表 目 次

第1表 龍王遺跡周辺遺跡名.....	3
第2表 表面採集資料①②観察表.....	9
第3表 表面採集資料③観察表.....	10
第4表 表面採集資料④観察表.....	11
第5表 検出遺構一覧表.....	14
第6表 方形周溝墓出土土器観察表.....	17
第7表 周隣地区別土器分布表.....	34
第8表 前方後円墳出土土師器(坏・皿)観察表	36
第9表 前方後円墳出土土師器(高坏・壺)観察 表.....	38
第10表 前方後円墳出土須恵器(坏)観察表..	39
第11表 前方後円墳出土須恵器(高坏)観察表	40
第12表 前方後円墳出土須恵器(甕・提瓶・壺) 観察表.....	41
第13表 前方後円墳出土須恵器(小壺・平瓶) 観察表.....	43
第14表 前方後円墳出土須恵器(甕)観察表..	46
第15表 国見町内出土同心円文当て具痕.....	58
第16表 31区 SB01出土土器観察表	63
第17表 龍王遺跡22区 SB 5 出土土器観察表	68

図版目次

- 卷頭図版① 龍王遺跡倉地川地区上空より雲仙普賢岳を望む（2004年10月）
卷頭図版② 前方後円墳上空写真（龍王遺跡倉地川地区）
　　横穴式石室検出状況（写真右は東、上は開口部側）
卷頭図版③ 埋葬施設床面の鉄製品出土状況（写真下が西）
　　周辺での土器の集中（後円部南側）
卷頭図版④ 方形周溝墓検出状況（龍王遺跡倉地川地区）
　　方形周郭施設の土器検出状況・断面・上空写真
- 図版 1 遺跡上空写真
図版 2 倉地川地区検出状況（上が西）
　　前方後円墳上空写真（上が西）
　　南側周辺遺物検出状況（上が西）
　　方形周溝墓上空写真（上が西）
　　方形周溝墓検出状況（南より）
　　方形周溝墓周溝断面（西より）
図版 3 方形周溝墓及び掘立柱建物出土土器
　　埋葬施設出土の石片接合品
　　（凹石・19図 P 23）
　　南側周辺出土状況（南より）
　　南側周辺出土状況（東より）
　　南側周辺断面（西より）
　　埋葬施設検出状況（上が東）
　　周辺と埋葬施設の位置関係（南より）
　　南側くびれ部土器出土状況（西より）
図版 4 北側くびれ部土器出土状況（東より）
　　前方後円墳検出作業（南より）
　　古墳見学会の様子①
　　古墳見学会の様子②
　　土坑墓検出状況（北より）
　　土坑墓半裁状況（北より）
　　土坑墓断面（西より）
　　土坑墓出土土器（43図 P 52）
図版 5 表面採集資料（弥生土器片・土師器片）
　　表面採集資料（須恵器片・9図 P 10）
　　表面採集資料（須恵器甕片・10図 P 11）
　　表面採集資料（陶磁器片・11図 P 12）
　　周辺出土土師器坏類
- 図版 6 周辺出土土師器坏（28図-4 P 36）
　　周辺出土土師器高坏（29図-9 P 37）
　　周辺出土土師器高坏（29図-10 P 37）
　　周辺出土土師器高坏（29図-11 P 37）
　　周辺出土土師器高坏（29図-12 P 37）
　　周辺出土土師器高坏（29図-18 P 37）
　　周辺出土土師器脚付壺（29図-22 P 37）
　　周辺出土土師器高坏
　　（29図-13・14 P 37）
　　周辺出土土師器高坏
　　（29図-16・17・19 P 37）
　　周辺出土土師器壺（29図-20・21 P 37）
　　周辺出土土師器高坏（29図-18 P 37）脚
　　内部
　　周辺出土須恵器坏（30図-1 P 40）
　　周辺出土須恵器（30図-2 P 40）
　　周辺出土須恵器坏類（30図 P 40）
図版 7 周辺出土須恵器坏類（30図-31図 P 40）
　　周辺出土須恵器高坏（31図-1 P 40）
　　周辺出土須恵器高坏（31図-2 P 40）
　　周辺出土須恵器高坏脚部・縫
　　（31図-4・7, 32図-4 P 40-42）
　　周辺出土須恵器縫（32図-1 P 42）
　　周辺出土須恵器縫（32図-2 P 42）
　　周辺出土須恵器縫（32図-3 P 42）
　　周辺出土須恵器縫（32図-5 P 42）
　　周辺出土須恵器縫（32図-6 P 42）
　　周辺出土須恵器長頸甕（33図-2 P 42）
図版 8 周辺出土須恵器小壺（34図-1 P 43）

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 周墳出土須恵器提瓶(33図-1 P 42) | 図版10 周墳出土須恵器壺(37図④ P 46)外面 |
| 周墳出土須恵器平瓶(34図-2 P 43) | 周墳出土須恵器壺(37図④ P 46)内面 |
| 周墳出土須恵器平瓶(34図-3 P 43) | 周墳出土須恵器壺(39図⑤ P 49)表面 |
| 周墳出土須恵器俵型壺
(32図-7 P 42) | 周墳出土須恵器壺(39図⑤ P 49)側面 |
| 周墳出土須恵器俵型壺の内部①
(32図-7 P 42) | 周墳出土須恵器壺(40図⑥ P 50)外面 |
| 周墳出土須恵器俵型壺の内部②
(32図-7 P 42) | 周墳出土須恵器壺(40図⑥ P 50)内面 |
| 周墳出土須恵器俵型壺の上面観
(32図-7 P 42) | 周墳出土須恵器壺(42図⑧ P 51)外面 |
| | 底部 |
| | 周墳出土須恵器俵型壺(42図⑧ P 51)内面 |
| | 底部 |
| 図版 9 周墳出土須恵器壺(35図① P 44) | 図版11 周墳出土須恵器壺(41図⑦ P 50)表面 |
| 周墳出土須恵器壺
(39図⑤ P 49, 35図① P 44) | 周墳出土須恵器壺(41図⑦ P 50)表面 |
| 周墳出土須恵器壺(36図② P 45)表面 | 周墳出土須恵器壺(41図⑦ P 50)内面 |
| 周墳出土須恵器壺(36図② P 45)内面 | 31区住居跡出土土師器壺
(56図-1 P 62) |
| 周墳出土須恵器壺
(38図③ P 47~48)上半 | 31区住居跡出土土師器(56図 P 62) |
| 周墳出土須恵器壺
(38図③ P 47~48)下半 | |



第1図 遺跡位置図(1/10,000)